

全国のあいつぐ差別事件

-その概説と分析-

はじめに

本書は、基本的には二〇〇八年四月から〇九年三月までの間に生起もしくは発覚した差別事件、あるいはこれ以前に発覚し、この間に糾弾会などで集約を確認した差別事件を拾い上げ、そのなかから比較的事実関係が明確で、典型的な事件を選んで編集・紹介している。「解放新聞」中央版や各都府県版、その他、部落解放同盟各都府県連合会（以下、都府県連）が集約した資料などから収録した。

編集にあたり可能な限り資料収集に努めたが、紹介した件数には地域的偏りがある。本書に収録されたものがすべてではなく、都府県連でも集約しきれていない支部・地協レベルでの未確認情報が多数あるものと思われる。ついては、そういった細かな情報も是非ともお寄せいただきたい。

また、これら収集した差別事件について、①結婚相談所による差別事件、②戸籍謄本等不正取得事件、③土地差別事件、④差別投書・落書き・電話、⑤インターネットによる差別事件、⑥地域社会における差別事件、⑦就職差別事件、⑧企業・従業員による差別事件、⑨公的機関・職員による差別事件、⑩結婚に関わる差別事件、⑪教育現場における差別事件、⑫宗教界における差別事件、⑬マスコミ・出版界における差別事件、⑭エセ同和事件、の一四項目に分類している。ただし、複数の項目にまたがる差別事件については、これまでと同様に、より適切と思われる項目に分類した。

本書で紹介した差別事件は氷山のほんの一角にすぎないが、差別の現実を知る手がかりとして、また差別撤廃への取り組みの基礎資料として、少しでも役立てば幸いである。